

寄稿 穂高岳登山記



~~~~どうしてもと意気込んで~~~~  
佐野忠厚さん

## 健脚組を選ぶ

今年もまた夏山だと意気込んで上高地～北穂高岳～涸沢岳～奥穂高岳～前穂高岳～上高地ルート（健脚組）と上高地～奥穂高岳～上高地ピストン（普通組）の2ルートを企画、各自が体力・体調を考慮し、いずれかのルートを選ぶのである。当然、僕は健脚組を選んだ。穂高連峰の縦走を夢見て7月29日出発、名古屋で沖縄を含む関西組3名が集合、松本から上高地に入りそこで関東組2名と合流。残念ながら強い雨の中、今夜の小屋へと向かった。“まるごと館”で出会う方々が昨日から上高地に



来ているとのことであり、もしや思いながら注意しながら歩を進めるも、この雨の中見つけるのは困難である。

## 2日目…熊との遭遇

翌30日早朝5時半雨の中出発、徳沢園”（小説“氷点”の舞台の最終章で彼女が主人公と落ち合った、しかし彼は遺体であった宿）を通過し、“槍ヶ岳との分岐点を穂高方面へと向かう、このころには雨も上がり快調に進む。しばらく笹藪の中を進むと下山する人と出会う、曰く



100メートルほど進んだ所に熊がいると、しかし慌てている様子ではなかった。本当だろうか？用心して進んだ。いた、驚いた、黒い熊が倒れ

た大木に顎を乗せてこちらを伺っている。体は木に隠れて見えないが、顔だけはこちらを見ており、大きさは不明である。

足早に5名は通り過ぎた。写真はシャッター押すとフラッシュを炊くこととなつては、その後が恐ろしく何もできなかった。熊に出会って気合いが入ったのか、その後も快調飛ばす。傾斜もきつくなり、岩場の登りとなる、雪渓を登りきると今日の目



的地“涸沢ヒュッテ”（2809m）に到着である。予定よりかなり早く到着した。早速、明日の天気を祈りつつビールで何回もの乾杯となる。北穂高小屋・穂高山荘へ、ヘリコプタが物資輸送を行っている。水蒸気も少なくきっと明日は好天であろうことを念じて7時には寝床に潜り込む……

## 3日目…頂上から360度のパノラマ

目が覚めると願ってもない好天である。5時半には穂高山荘での

再会を誓い山荘直行組と別れ、スーパー爺さんである我々健脚組も北穂高岳（3106m）に向かって出発である。北穂沢の岩のゴロゴロしたガレ場を登り石段状の道を登る。厳しい急勾配。しばらく登ると、昨晚お世話になった涸沢ヒュッテ付近にはテント村が見える。最盛期には、見事な色模様が見られるに違いない。さらに、急勾配のガレ場・岩場を鎖を頼りに、梯子を登ること3時間半予定よりかなり遅れて北穂高の南峰の頂上に立つ。360度のパノ



ラマだ。槍ヶ岳が、大天井が、スグ近くに見える。3年前「何が何でも槍ヶ岳」と言うことで登った山だ。

## 体力と気力の勝負!

名残惜しいが、奥穂高へ向かう。急斜面の稜線をV字型に200m程下りまた同じ位登るのである。岐阜県側から冷たい風が吹き上げる。岩場・鎖場・梯子の連続。一步踏み外すと、谷底に落ちそうになる。空腹になりながらも、休む場所もない。ようやく休憩。風も強く、火気も使用できないため昼食のデザートみかんとチーズ

## 八幡まるごと館だより

2013年9月4日/38号

<発行>八幡まるごと館/八幡市男山松里12-20

(TEL&FAX) 075-983-3664

(E-MAIL) [yawata@marugotokan.net](mailto:yawata@marugotokan.net)

ホームページは <http://marugotokan.net/>

又は、八幡まるごと館で検索して下さい

●  
八幡まるごと館は街行く人のだれもが自由に立ち寄れる“地域サロン”です。休館日は毎週火曜日と土・日午後です。



で飢えをしのぐ。さて、これからは急な登りとなる、歩いて登ることのみである。このころからガス(雲)もわきだしてきた。まさに体力と気力との勝負である。

**高山植物や雷鳥に**

歩きながらも可憐な高山植物



いわききょう



雷鳥

が多数見られ、また時には多くの雷鳥たちが出迎えてくれている、辛いひととき、心身共慰められる光景でもある。やがて涸沢岳3103mに到着。この頃にはガスもますます深くなり、30m先もはっきりと見えない。岩に付けてある目印のペンキを頼りに、予定時間よりかなり遅れて穂高山荘に到着した。この頃から雨も降り出してきて、やみそうにない。スーパ爺さんの明日の予定である奥穂高・前穂高を縦走する

涸沢岳頂上



計画を断念、全員で涸沢を上高地へと向かうことに変更した。布団に潜り込んだが屋根を打つ雨脚は、なお強くなるばかりである。

**4日目…平湯温泉で反省会**

朝やはり雨脚は強いが、全員で山となった。鎖場・梯子・岩場を注意しながら、ひたすら山を下りた。やがて雨は弱くなり、止んだ。上高地近くでは日も差しだし、蒸し暑くなった。この天候の中、全員無事下山できた。こうなると、心はもう反省会の場所である平湯温泉である。反省会から参加する2名を加え7名で夜が更けるのも忘れ一献を傾けながら談義が続いたのは言うまでもない。来年もまた……。おやすみ。

てしまうのは実はその部分なのだと思います。なかなか難しいです。でも、そんなことはひと言もいわれず、涼しげに「なんでもないことですよ」って。お世話になります。



**八幡まるごと館 9月・10月の予定** 9月14・15日と23日休館です

|                                                                                                                                                                                                                |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>&lt;パソコン教室&gt; 基本的には毎週月曜日 10時~12時です<br/>9月2日、9日、16日、30日です。 パソコンを持って来て下さい。<br/>参加費用 300円(コーヒーつき) <b>毎週月曜午前10時です</b><br/>10月7日、14日、21日、28日</p>                                                                |
| <p>&lt;エコクラフトでカバンを作る(パート2)&gt;<br/>9月4日(水)13時~ 前回の続きです 講師 青井八重さん<br/>きっと完成するでしょう</p>                                                                                                                           |
| <p>&lt;パッチワーク作品の展示・販売&gt;どうぞお楽しみに。<br/>9月16日(月)~9月30日(月)藤井照子さんのパッチワーク作品の展示・販売を2週間開催します。昨年秋のまるごと市で展示していました。絵画のようなテーマ性のある見応えのある作品です。</p>                                                                         |
| <p>&lt;絵手紙講習会&gt; ちょっとゆったりしませんか。<br/>9月11日(水) は中止です。次回10月9日です。午後1時30分~<br/>特に持ち物は要りません。 <b>毎月第2水曜午後1時30分です</b><br/>講師 森本玲子さん 参加費 450円(コーヒーつき)</p>                                                              |
| <p>&lt;秋のまるごと市&gt; 詳細は後日お知らせ致します<br/>10月20日(日) 10時~13時30分フリーマーケット8店募集します。<br/>ご希望の方はまるごと館までご連絡下さい。地元の新鮮な野菜・新米・花・うどん・炊き込みご飯・布ぞうり・手作り品等々あります。<br/>どうぞ、よろしくお願い致します。楽しい催しを考えています。売上金の一部は東日本大震災で被災された方々に寄付致します。</p> |

**<こんなことしました>**

**<エコクラフトでかばんを作る>**

8月23日午後1時より7人参加で、青井八重さんに教えていただきました。初めての方ばかりで、大変だったようです。青井さんには2010年よりお世話になっていて、太さや長さの違うエコクラフトをいつも必要な数切りそろえて準備され持って来られます。ひとりで作ろうと思っても、面倒でくじけてあきらめ

**<あんなこと・こんなこと>**

\*今回のまるごと館たよりは趣が違います。佐野忠厚さん。野菜の生産者のおひとりです。毎年夏の登山を楽しみに(すべてこの時のために働いてきたような)、登山のためのトレーニングも欠かさず万全の状態で臨んで出発されます。自分が登っているわけでもないのに、臨場感あふれる文章で、熊にドキッしたり、以前高山植物や雷鳥にであいほったことを思い出しました。岩場を登るのは危険と隣あわせで、とても大変です。スーパ爺さんなんてとんでもないです。また、来年ですね。体験記ありがとうございました。

\*藤井照子さんのパッチワーク作品の展示・販売を2週間行います。是非お越し下さい。

\*鈴虫がきれいな声で鳴いています。たくさんの方が「鈴虫欲しい」と来られました。鈴虫で話が弾んだりするのも鈴虫のおかげかな。「鈴虫つながり」です。地下を走るリニアのことが先日新聞にでていました。自然は、人間はどうなるのでしょうか。無責任にこんなことを書いているのもどうかと思いますが、そんな中で鈴虫生きていけるかなと思うと今の状況に責任を感じないと……

(うえたにじゅんこ)